



Readability Matters

Insist on Human Touch to Stay Competitive

Naoko Uchida



Speaker Profile

- Freelance JPN Translator, 18+years
- Specialized in Localization of contents
- External linguist for corporations, in charge of review phase of localization workflow. Reviewer Coordinator.
- Instructor for Translation Workshop at Simon Fraser University.

あいうえお

自己紹介

- フリーランス翻訳者18年
- 専門はコンテンツのローカリゼーション
- 企業の外部リングイストチームにサブコントラクターとして所属し、プロジェクトのレビューを担当している。今年から、レビューアコーディネータという役割をもらい、新人のトレーニング、チーム間の統一、顧客の意向のチームへの伝達などの業務も担当するように。
- バンクーバーのサイモンフレイザー大学の社会人講座で翻訳ワークショップの講師もしています。

Readability Errorとは

- LQA (Linguistic Quality Assurance: 言語品質保証) スコアモデルのエラーカテゴリ
- Style Error、Preferential Errorということも
- 誤訳ではないけれども、ターゲット言語（日本語）として見たときに不自然という翻訳を修正するときに適用される

あいうえお

Readability Errorとは

- LQAスコアモデルで使用されるエラーのカテゴリの一つ
- 会社によってはスタイルエラー、プリファレンシャルエラー、など別の呼び名の場合も。
- 誤訳ではないけれども、ターゲット言語（日本語）として見たときに不自然という翻訳を修正するときに適用されるエラー

LQA Scoring Model

■ The LISA Quality Assurance Form

Quality Assurance Form

Language:	Reviewer:	Date:	Result: Pass	Comments:		
Client Name						
Project Name						
Project Number						
Project Manager						
		Critical	max. error points + 1			
Number of words	0	Major	5 points			
Max error points allowed	0	Minor	1 point			
Error Category	Minor	Major	Critical		total	max. allowed
Mistranslation	0	0	0		0	0
Accuracy	0	0	0	0	0	
Terminology	0	0	0	0	0	
Language	0	0	0	0	0	
Style	0	0	0	0	0	
Country	0	0	0	0	0	
Consistency	0	0	0	0	0	
			Total	0	0	

More elaborate descriptions of the error criteria can be found in the LISA QA model version 1.0 Reference Manual.

Source: "The Measurement of Quality in Translation Using Statistical Methods"
by Riccardo Schiaffino and Franco Zearo. 43rd ATA Conference, Atlanta, 2002.

LQAスコアモデルの例です。

ローカリゼーションの現場では、翻訳の質を数値データにして管理できるように、このようなスコアカードを使用します。

Mistranslation(誤訳)、Terminology(用語選択ミス)、Language(文法ミス)などのエラーカテゴリーが定義されています。

これはLISAという現存しない団体が作成したLQAフォームです。＜Click＞今回のテーマであるReadabilityは、ここではStyle Errorという名のカテゴリになっています。

レビューアは翻訳を修正する際に、修正しているエラーをカテゴリー別にカウントします。その際、エラーの深刻度(Minor, Major, Critical)も指定します。

エラーのカテゴリーと深刻度に応じてポイントが加算されます。

プロジェクトのワードカウントに応じてポイント数の上限が設定されており、エラーポイントが上限を超えた時点で「Pass」が「Fail」に変わる、という仕組みです。

Readability Error をめぐる問題

訳質の問題を解決しきれない

REに該当するような翻訳が世に出回っている

あいうえお

Readability Error 例 1

How can we help you start your success story?

Choose an option below and we'll show you how we can positively impact your business.

Pick a topic of interest to you... ▾

我々が企業を成功へと進む支援をいたします。

我々がどうビジネスにポジティブな影響を与えるのか、以下より選択してご覧下さい。

ご興味のあるトピックを選択してください ▾

あいうえお

A^b C^d e

Readability Error 例 2

Join our email list today!

Email address [Sign Up](#)

私たちの電子メールリスト、今日に参加しましょう。

Email Address [サインアップ](#)

あいうえお

Readability Error 例 3

[PRODUCT_NAME] lets you build your own online portfolio. You can manage galleries, e-commerce, blogs and much more.

[PRODUCT_NAME] は、あなた自身のオンラインポートフォリオの構築を可能にします。あなたはギャラリー、Eコマース、ブログなど、多くのものを管理することができます。

あいうえお

機械翻訳だから？違います。

MTは「てにをは」抜け、トーンの不一致、不明な人称代名詞など、文法の破綻が顕著。

他のクッキーは必須ではないが、我々はオンライン何を改善できるので、訪問者が当社のウェブサイトを使用する方法を理解を教えてください。

あいうえお

機械翻訳だから？違います。機械翻訳ならもっとひどいです。

なぜ、こうなるのか。

我々が企業を成功へと進む支援をいたします。
我々がどうビジネスにポジティブな影響を与えるのか、以下より選択してご覧下さい。

ご興味のあるトピックを選択してください。

- 文法的な誤りはない。
- 原文の意味もすべて含まれる。

▪ だけど日本語として一から書くなら、こうは書かない。

私たちの電子メールリスト、今日に参加しましょう。

Email Address サインアップ

[PRODUCT_NAME] は、あなた自身のオンラインポートフォリオの構築を可能にします。

あいうえお

文法的なミスはない。原文の意味もすべて含まれている。だけど日本語として一から書かなら、こうは書かない。それがReadability Errorとされる訳文です。

これらのサンプルは、すべてWeb上に公開されているコンテンツの中から集めました。

ヒトが翻訳していても、さらには、トライアル翻訳に合格して、品質も立証されていたはずの翻訳者が翻訳していても、こういう品質の翻訳は日常的に世に出回っています。

なぜ、こうなるのか。それには、いくつかの要因があります。

環境要因

- 翻訳者の作業環境
- ローカリゼーションの作業環境

まず環境要因。

翻訳者の作業環境

- 翻訳ツールを使用
 - テキストだけでは判断しきれない文脈情報が欠如



テキストだけでは判断しきれない文脈情報が欠如

翻訳者の作業環境

- 細切れ・短納期
 - 2～2000 words/project
2000 wといっても、別々の文脈から抜き出した100～500 word程度の断片の集合だったりする。
 - 2000 words以下だと、2～3日のTAT
文脈情報が不足していても、確認を取る猶予がない

あいうえお

翻訳者の作業環境

- 翻訳ツールを使用
 - テキストだけで判断できない文脈情報の欠如
- 細切れ・短納期
 - 文脈の断片の集合
 - 確認する時間的猶予がない

あいうえお

翻訳者の作業環境

- 翻訳ツールを使用
 - テキストだけで判断できない文脈情報の欠如
- 細切れ・短納期
 - 文脈の断片の集合
 - 確認する時間的猶予がない

つまり、文脈情報が非常に限られた状態で翻訳をしている。

あいうえお

限られた文脈の中で翻訳

How can we help you start your success story?
Choose an option below and we'll show you how we can positively impact your business.

Pick a topic of interest to you...

我々が企業を成功へと進む支援をいたします。
我々がどうビジネスにポジティブな影響を与えるのか、以下より選択してください。

ご興味のあるトピックを選択してください。

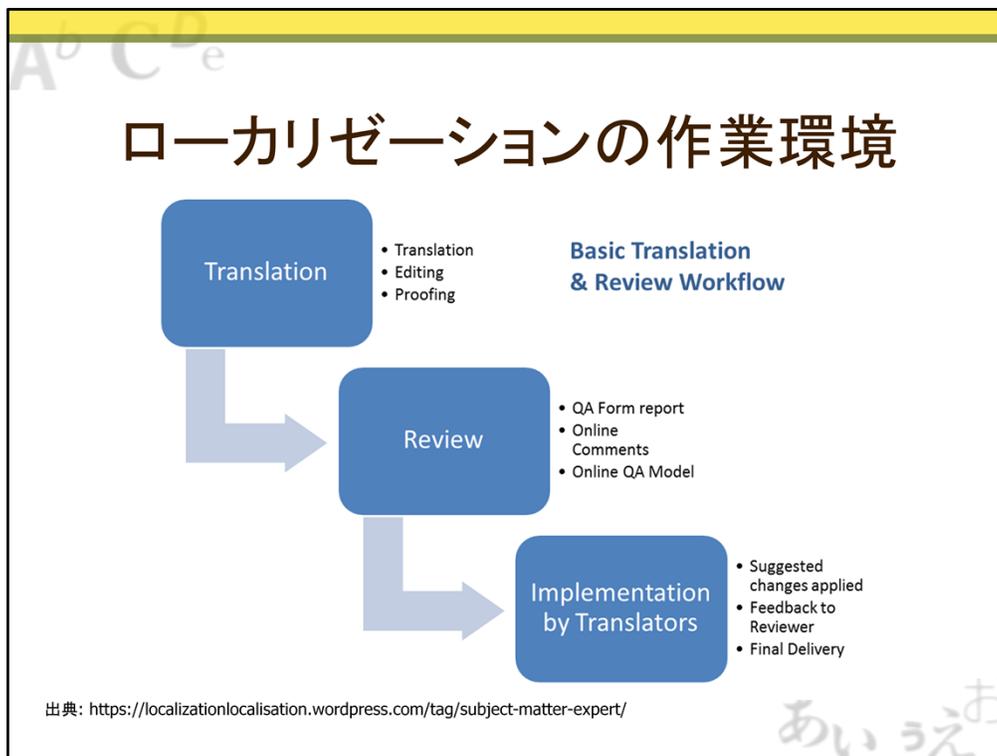
- 「How can we help...」の下に「Choose an option below and we'll...」が入る
- 「Pick a topic of interest to you...」はボタンのラベル

... という情報がなかった?

あいうえお

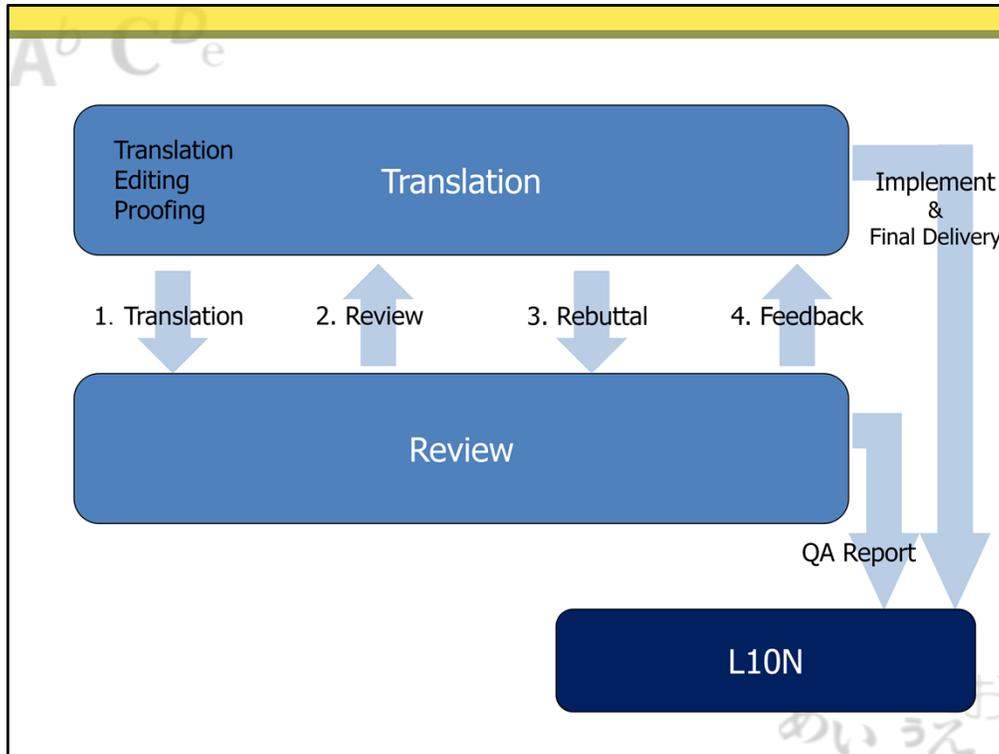
たとえば、先ほどのサンプルで言えば、「How can we help...」のすぐ下に「Choose an option below and we'll...」が入るとわかっていれば、両者を同じ書き出しにしないという配慮ができたはず。

「Pick a topic of interest to you...」はボタンのラベルだとわかっていたら、もっと短いフレーズの訳が適切と判断できたはず。



これはLocalization, Localisationというサイトに掲載されている、Basic Translation&Review Workflowの図です。

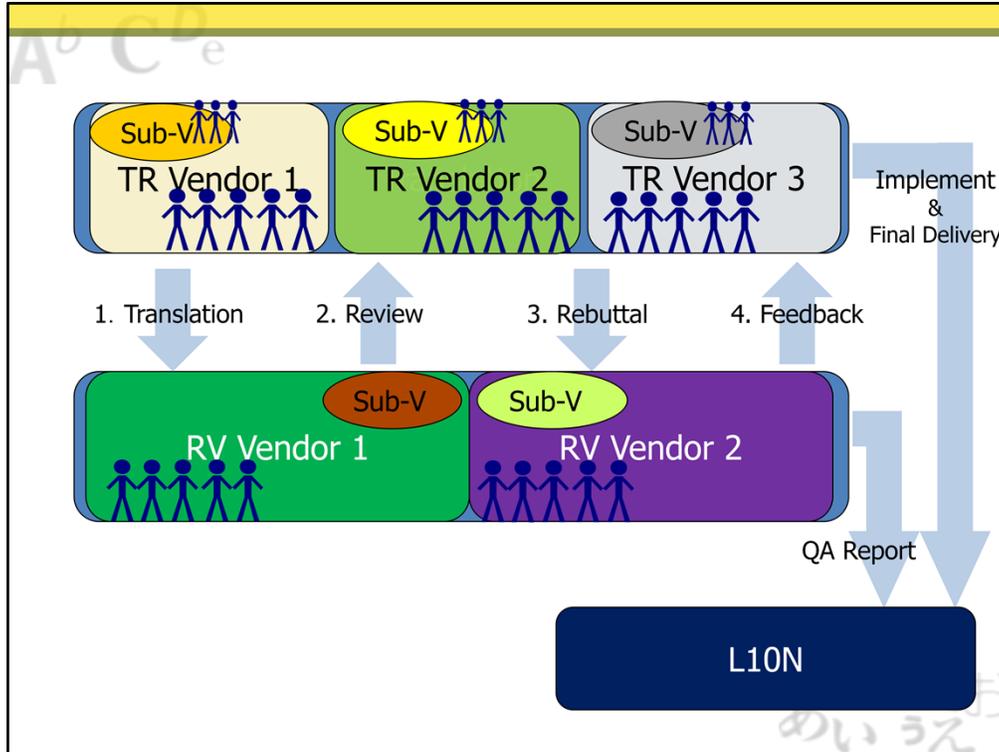
こうしてみると、階段式にまっすぐ下に進んでいるように見えてしまいますが、実際のやりとりはもっと複雑です。



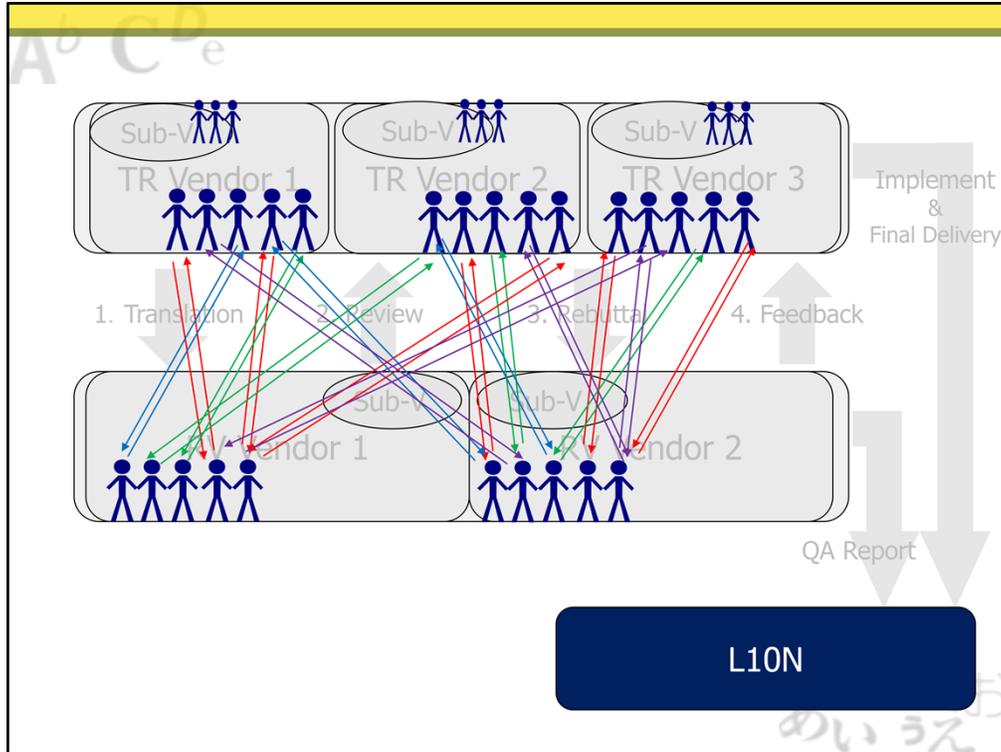
- 1 翻訳ベンダー内でも翻訳、エディット、プルーフと、2~3人の手を経たものが翻訳として提出され、レビューに回ります
- 2 レビューアがレビューを行い、修正後の翻訳とエラーレポートを提出します。それが翻訳者に返されます。
- 3 翻訳者が修正とエラーレポートに目を通し、不服があればRebuttalを返します。
- 4 Rbuttalに対してレビューアが回答を返します。

翻訳ベンダーは最終的に確定した修正内容を翻訳物に反映し、最終納品物として提出します。

レビューベンダーは最終的なエラーレポートを提出します。これが翻訳者、L10Nに共有され、記録されます。



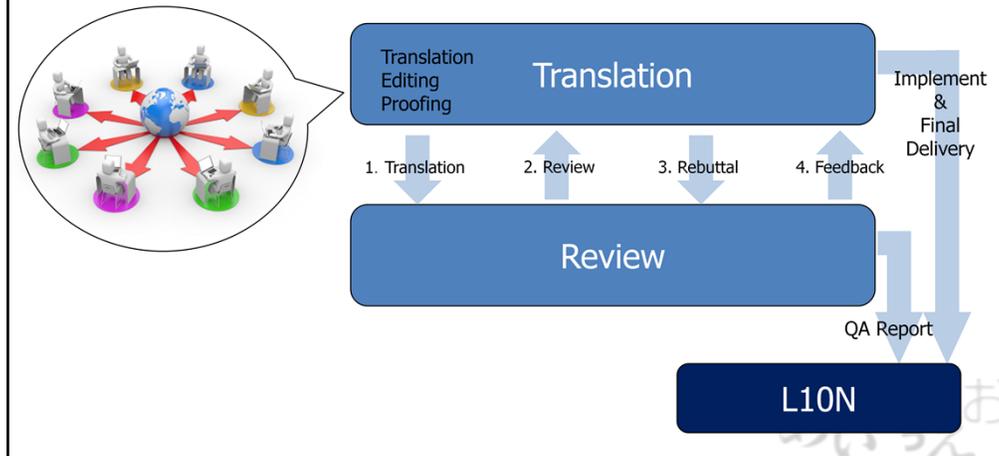
Translation、Review の中も単純ではなく、それぞれの工程に複数のベンダーが関与しており、かつ各ベンダーの下にさらにサブベンダーがいる場合もあります。
 (Click) それぞれのベンダーの元で、複数の個人翻訳者、レビューアからなるチームが構成されています。



Translation, Review, Rebuttal, Feedbackの各矢印は、チームを構成している個々の個人翻訳者、個人レビューアとの間で無数に張り巡らされてやり取りが行われています。

ローカリゼーションの作業環境

■ 関係者が分散して共同作業



このように、ローカリゼーションの工程では、複数の個人翻訳者、個人レビューアがワークフローを管理するシステムを介して共同作業をしています。

システムに設定されたタイムラインにそって、翻訳者は期日までに納品します。すると、次の工程をアサインされているレビューアのキューにプロジェクトの所有権が移動し、今度はレビューアが期日までにレビューを返します。すると、元の翻訳者のキューに再びプロジェクトの所有権が移動し、というように、工程は進んでいきます。

ローカリゼーションの作業環境

- 関係者が分散して共同作業
- 物理的・時間的に隔離され、成果物の受け渡し以外に接点がない

「集合知」として翻訳メモリの
既存訳が重用される



つまり、作業している人は基本的に一人でコンピュータに向かって仕事をしています。また、今作業している人が終わるまで、プロジェクトは次の人の元には渡らないので、同時期に作業にあたるということもありません。

このように、ステークホルダーたちは、物理的にも、時間的にもお互いに孤立し、成果物の受け渡し以外にほとんど接点のない状態で協業しているのです。

そんな分散環境の中で整合性を保つ存在とされているのが、翻訳メモリです。翻訳者、レビューアともに、共通の翻訳メモリを使うことで、表現や用語使いの一貫性を維持しています。

<Click> 必然的に、翻訳メモリに蓄積されている既存訳は「集合知」として権威を持ち、尊重されるようになります。

翻訳メモリの重用

- 質問への回答・指示が「TM／用語集／スタイルガイドに従え」
- 既存訳からの逸脱＝Compliance Errorというエラーカテゴリも存在する

あいうえお

翻訳メモリの重用

- 質問への回答・指示が「TM／用語集／スタイルガイドに従え」
- 既存訳からの逸脱＝Compliance Errorというエラーカテゴリも存在する

微妙な不自然、あるいは不本意な訳でも、それが既存訳に従っている場合、いち翻訳者が積極的に手を入れにくい。

A^o C^o e

翻訳メモリの重用

How can we help you start your success story?
Choose an option below and we'll show you how we can positively impact your business.

Pick a topic of interest to you... -

我々が企業を成功へと進む支援をいたします。
我々がどうビジネスにポジティブな影響を与えるのか、以下より選択してください。

ご興味のあるトピックを選択してください。 -

■ 「我々が」は違和感のある表現。

...でも既存訳に一貫して
このスタイルが使われていたら?

あいうえお

この例で言えば、「我々が」は違和感のある表現だが、既存訳に一貫してこのスタイルが使われていたら、自分だけの判断で削除したり別の表現に言い換えることはしづらい。

環境要因

- 翻訳者の作業環境
 - 文脈情報が非常に限られ、確認を取る猶予もない
- ローカリゼーションの作業環境
 - 「集合知」として翻訳メモリが重用される

というわけで、環境要因。

- 翻訳者の作業環境
- ローカリゼーションの作業環境

そうはいつでも、「我々」とか、日本語らしくない表現なのだから、プロならそこを直すのが仕事だろう。と思うでしょう。
なかなかできない事情があるのです。

では次の要因を見てみましょう。

政治要因

- 翻訳者の「お客様」は誰
 - 誰の目を気にしているのか
- 判断ができる「権威」の不在
 - 「良い訳」の判断はいつ誰が

あいうえお

翻訳者の「お客様」は誰

- プロジェクトマネージャ (PM)
 - Language Service Providerを介しての受注
 - PMの満足 = 対価の支払いと継続受注

- プロジェクトマネージャの満足とは
 - 納期が守られること
 - フェイル率が上がらないこと
 - ワークフローを止めたり、問題が起きないこと

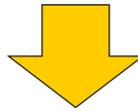
翻訳者の「お客様」は誰

- ローカライズの仕事は、ほぼLanguage Service Providerを介しての受注。プロジェクトマネージャに満足してもらうことが、対価の支払いと、今後の受注の継続性につながる。
- プロジェクトマネージャの満足 = プロジェクトが成功裏に終わり、顧客からの対価の支払いと、今後の受注の継続性を確保すること。
 - 納期が守られること
 - フェイルレートが上がらないこと
 - プロジェクトのワークフローを止めたり、問題が起きないこと (納期が遅れるとフラグがあがり、説明を求められる。フェイルレートが上がると、説明を求められたり、継続受注に影響)

誰の目を気にしているのか

プロジェクトマネージャは
翻訳を読んで評価を下していない。
訳質はレビューアが出す評点で判断。

重用されるTMの
既存訳に従って
おけば間違いない



過去訳をルール
化して文脈度外視
に当てはめたがる

「レビューで Fail を出さない」圧力

- プロジェクトマネージャは個々の翻訳に目を通して、読者として評価を下しているのではない。訳質の評価はレビューアが出す評点で判断。
- 「レビュースコアでFailを出さない」圧力が生まれる。
 - <Click1> 重用されるTMの既存訳に従っておけば間違いはない
 - <Click2> 過去訳をルール化して文脈度外視に当てはめたがる
 - You can manage... = 「～管理することができます。」
 - Create manually = 手動で作成

レビューアも...

プロジェクトマネージャは統計(エラー適用数、
Rebuttal 発生数)でレビュー品質を判断。



- 修正するからにはエラーをつける責任
- Rebuttalを出され、修正しづらい



翻訳者はレビューで Fail を出したくない

- プロジェクトマネージャは統計でレビュー品質を判断。
 - 修正をどれくらいしているか。抜き打ちでRtR監査も入るので、必要な修正はきちんとしなければならない。
 - 適正なエラーカテゴリを適用しているかも見られる。
 - エラーをつけないで修正をすることは、個人の好みに寄せた不要な直し。定数評価の邪魔にもなるので、よくないとされる。
 - つまり、修正するからには、エラーを適用する責任を負っている。
- しかし、エラーをつけるとレビュースコアに影響し、翻訳者にとっては死活問題になるので、ものいいがつく。
 - 日本語だけ見ればわかるはずの修正に、説得を要する。
 - 「〇〇社では、」を「〇〇社は、」に変えてもらうのに、4回もフィードバックのやり取りでもめる

[PRODUCT_NAME] lets you build your own online portfolio. You can manage galleries, e-commerce, blogs and much more.

[PRODUCT_NAME] は、あなた自身のオンラインポートフォリオの構築を可能にします。あなたはギャラリー、Eコマース、ブログなど、多くのものを管理することができます。

[PRODUCT_NAME] では、独自のオンラインポートフォリオを作成できます。ギャラリー、Eコマース、ブログなど、さまざまなコンテンツを管理できます。

あいうえお

第1文: →元訳は原文の意味に相反しておらず、誤訳とは言えない。→好みの問題だ。
第2文: →「much more」は「多くのもの」だ。「さまざまな」は「various」の訳だ。原文にない。

[PRODUCT_NAME] lets you build your own online portfolio. You can manage galleries, e-commerce, blogs and more.

「明確な誤り」ではないので、改変を正当化しづらい。

- **翻訳者**: Compliance エラーになるリスク
 - エラーになれば、自分の評価にマイナス。
- **レビューア**: 好みの問題と反論されるリスク
 - Rebuttal 増加は自分の評価にマイナス。

何もしなければ、フラグが上がらずプロジェクトは問題なくクローズするので、世話がない

あいうえお

「明確な誤り」ではないので、改変を正当化しづらい。

- **翻訳者**: 既存訳を優先しなかったと Compliance エラーになるリスク → エラーになれば、自分の評価にマイナス。
- **レビューア**: 好みの問題であり、エラーには該当しないと反論される → Rebuttal を受ける回数が増えれば、自分の評価にマイナス。
- 何もしなければ、フラグが上がらず問題なくプロジェクトはクローズする

判断ができる「権威」の不在

- 内容に発言権のある人と現場の翻訳者との間に接点がない
- 上の人: マクロしか見てられない
- 現場: アクセスに制限、全体に及ぶ判断を自発的には下しづらいし、権限もない
- 読者の目に触れ品質が表面化する頃にはすでに翻訳者の手を遠くはなれている。

あいうえお

判断ができる「権威」の不在 = 世話ない方へ逃げてしまうのは、現場だけのせいではない。

- 内容に対して発言権を持つ立場の人(翻訳物を使用する側、翻訳の発注者)と、末端にいる翻訳者との間には何重もの隔たりがあり、接点がありません。
- 発言権のある立場の人ほど、接している範囲が大きすぎて、個々の問題を細かく把握してられない。
- 一方、個々の問題に接している立場にある現場の実務者は、自分の担当する範囲の文脈にしかアクセスできないので、全体に及ぶ判断を自発的には下しづらいし、権限もない。
 - 「プロバイダ」vs「サプライヤー」
- 翻訳物の品質が内容を見て判断される頃には、すでに翻訳者の手を遠くはなれている。問題があればどこまででも追いかけてくるけれど、品質がよかった場合には、どの翻訳者の何が良かったというところまで、具体的な評価がきこえてくることはあまりない。

政治要因

最終的な翻訳物を自分の「作品」として捉える視点、最終品質に寄与できるという意識を持つ機会がない。

そういう意識を持つことにメリットが見えにくく、むしろリスクの方が身近にある。

あいうえお

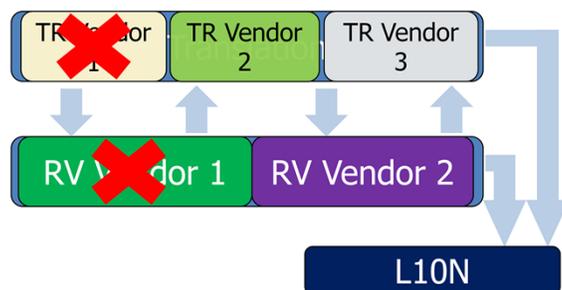
でも、「Readability」は大切



高文脈言語である日本語では、改行一つで意味が大きく変わってしまうことさえあります。この写真では、イタリアの本格パスタが面白い感じに仕上がってしまいました。

「Readability」は大切

- 訳質の問題はいずれ表面化
 - × 顧客満足 → ベンダーごと継続受注失う



「Readability」は大切

- 自動翻訳に対抗できる付加価値
 - 機械は翻訳者を置き換えませんが、共存の時代
 - 「時間と費用をかける価値」を提案できる品質

私たちの電子メールリスト、今日に参加しましょう。

← 有料、数日～数か月

無料、瞬時

他のクッキーは必須ではないが、我々はオンライン何を改善できるので、訪問者が当社のウェブサイトを使用する方法を理解を教えてください。

「Readability」は大切

- 「訳質問題の表面化」が早期に、具体的に
 - デジタルマーケティング
 - アクセス解析
 - コンテンツの収益化
 - 訪問者数、表示回数、フォロワー数

What Worked/What Didn't が統計的に把握できる
+
収益性に関連付けられる

あいうえお

これからの競争力

訳質劣化を助長する「環境要因」「政治要因」
の制限下でも、自然で読みやすい訳文の
達成に 寄与できる 能力

Readability に寄与できる能力

Readability に寄与できる能力

- 翻訳者としてのアカウントビリティを持つ
 - 機械やルールによりかからない
- コメントを残し、質問をする
 - 不備の見える化 → 次工程での解決に貢献
- 指摘にオープンであること
 - 最終的な訳質の向上に寄与する
- これらを特に指示がなくてもできること

あいうえお

具体的には、

- 翻訳者として自分の訳にアカウントビリティが果たせるか常に意識すること。機械やルールによりかからない。
- コメントを残し、質問をする。不自然さや不明点があれば、手を挙げる。情報を残しておくことで、次の工程での解決に貢献できます。
- 指摘にオープンであること。レビューの指摘に建設的に応じることで、最終的な訳質の向上に寄与できます。
- これらを特に指示がなくてもできること

Readability に寄与できる環境

- 翻訳者としてのアカウントビリティを持つ
 - 踏み込んだ訳＝リスクを負ったことを評価
- コメントを残し、質問をする
 - 質問できるプラットフォーム
- 指摘にオープンであること
 - 貢献に対する評価

あいうえお

「Readability」傾倒の兆候

- 「Readability」エラーカテゴリーの導入
 - もともとなかったが、新たに登場した
- 翻訳者／レビューアと関係者との接点
 - 質問の受け付け、打ち合わせ
- Transcreation
 - 翻訳ツールのフレームワークの外で翻訳
- トライアル翻訳にコメント欄
 - 特に指示はなくコメント記入欄が付いている

あいうえお

「Readability」意識のメリット

- 差別化
 - 自動化できないソフトスキル
 - 取り替えがきかない役割
- 保身
 - 濡れ衣予防

不自然な
既存記のTM



結論

- 「Readability」に高い意識を持つことには大局的なメリットがある
 - 簡単に置き換えることができない存在になる
 - 翻訳が知的好奇心を満たす仕事であり続ける

Readability Matters!

Insist on Human Touch to Stay Competitive.

あいうえお